

唐工ニュー人



佐賀県立唐津工業高等学校

〒847-0832 佐賀県唐津市石志字中ノ尾3072番1

TEL 0955-78-1155 FAX 0955-70-3021

https://www.education.saga.jp/hp/karatsukougyoukoku/



令和7年
10月1日発行
第347号

求人状況と進路希望状況について

進路指導部長 杉原洋一郎

今年度の求人企業は9月現在1,682社でした。昨年同月比で1.07倍、119社の増加でした。また、昨年度末の合計1636社を7ヶ月前倒しで超えました。求人人数は、428人増加、昨年同月比1.14倍となりました。要因は、関東の求人増や、1社で複数求人を出した企業が多かったためです。

地区別にみると佐賀、関西、関東が増加。中京はやや回復、九州とその他は昨年並みでした。佐賀、関西、関東の三地区が全体の底上げになっていることは下表のとおりです。

なお、求人票はタブレットで閲覧できますので今後の就職活動に活用して下さい。特に1、2年生の皆さんは早い段階から求人票に目を通す機会を設け5、6社は候補としてあげておきましょう。

・求人企業数の比較

地区別 年・月	佐賀県	九州	中四国	関西	中京	関東	合計
令和7年9月	273	454	47	233	98	577	1,682
令和6年9月	249	457	52	194	93	518	1,563

・求人人数の比較

年度	人数
令和7年9月	3,407
令和6年9月	2,979

次に3年生の状況ですが、「希望は佐賀か福岡」という傾向がここ数年続いています。そのニーズに答えるかのごとく佐賀、福岡の求人が十分にあるので、希望者は幅広く検討できているといえます。逆に関西や中京、関東への希望者はここ数年、各地区を合計しても10名ほどに留まっています。

なお、就職希望者は本社所在地で分類していますが、研修後に勤務地を決定する企業もあります。県外就職者のうち7、8名は県内配属の可能性もあります。

・3年生進路希望状況の比較（検討中の者を除く R7 と R6 の9/1 集計）

地区別・校種別	就職希望者						進学希望者		
	佐賀県	九州	中四国	関西	中京	関東	大学	短期大学	専門各種学校
R7年生徒143人	45	52	0	4	3	4	12	1	14
R6生徒数144人	55	47	1	1	3	6	9	0	19



行事は変更することがあります。ご了承下さい。

日	曜	時	学 校 行 事	日	曜	学 校 行 事
1	水	平	進路希望調査(1,2年:朝 HR)	1	土	
2	木	平	小テ英④ SC(PM)	2	日	
3	金	平	HR(1,2年:生徒会役員立候補者選出 3年:クラス扱い)	3	月	文化の日
4	土	特	唐工祭準備期間(~15日) 振替日(11/4)	4	火	振替休日(10/4分) 未来のスペシャリスト(~7日)台湾
5	日		第一種電気工事士(学科)	5	水	HT⑨
6	月	特		6	木	小テ英⑤
7	火	特		7	金	HR(1,2年:校内企業紹介,3年:クラス扱い)
8	水	特	文化祭準備(バザーなど)	8	土	全日本バレーボール高等学校選手権県大会(本校会場) ものづくり全国大会(~10)
9	木	特	文化祭、片付けほか	9	日	全日本バレーボール高等学校選手権県大会(本校会場) 2級建築施工管理技術検定(ケ3)
10	金	特	リスニング英語検定 体育大会役員研修(放課後)	10	月	
11	土			11	火	⑦原子力防災訓練
12	日			12	水	専門高校進学説明会(13:30 本校)
13	月		スポーツの日	13	木	小テ数⑤ SC(AM)
14	火	特		14	金	HR(主権者教育)
15	水	特	体育大会総練習・準備 生徒保健委員会	15	土	
16	木	特	体育大会	16	日	
17	金	平	体育大会(予備日) 片付け、大掃除、科集会 HR(アンケート)	17	月	
18	土			18	火	成績激励会(1年)
19	日			19	水	生徒保健委員会 HT⑩
20	月	B	学校生活アンケート(面談週間~24日)	20	木	小テ国⑤ 成績激励会(2年)
21	火	B	佐賀週間(~31日、朝読書) 出前授業(ケ1,AM)	21	金	HR(生徒会総務役員選挙) 成績激励会(3年) 計算技術検定
22	水	B	月曜授業 HT⑧	22	土	
23	木	B	小テ数④ SC(PM)	23	日	勤労感謝の日 第一種電気工事士(技能)
24	金	B	HR(駅伝部壮行会) エイズ予防講演会(1年③)	24	月	振替休日
25	土		ウィンターカップ県予選(本校会場)	25	火	
26	日		ウィンターカップ県予選(本校会場)	26	水	月曜授業
27	月	平		27	木	SC(PM)
28	火	C	⑦防災避難訓練(⑥終了後)	28	金	HR(1年:クラス扱い,2年:クレハリン検査 3年:献血セミナー)
29	水	平		29	土	
30	木	平	小テ国④	30	日	アスピアイベント(4科:玄海エネルギーパーク)
31	金	平	HR(学校活性化アンケート(特活))			

HT:ヒューマントレーニング SC:スクールカウンセラー来校 キ:機械科 デ:電気科 ド:土木科 ケ:建築科 ⑧:建築科マイスター派遣事業

令和7年10月号

令和7年10月号

○地域の清掃奉仕活動

7月17日(木)、全校生徒による地域清掃ボランティア活動が実施されました。当日は真夏の日差しが照りつける中、生徒たちは汗を流しながら、一生懸命に道路や側溝にたまったゴミを拾い集めていました。この活動は、日頃から温かく見守ってくださっている地域の皆様への感謝の気持ちを込めて実施しているもので、生徒たちにとっても大変意義のある取り組みとなっています。清掃を通して地域への貢献を実感するとともに、公共の場を大切に

する心や、マナー・環境美化に対する意識を育むことを目的としています。

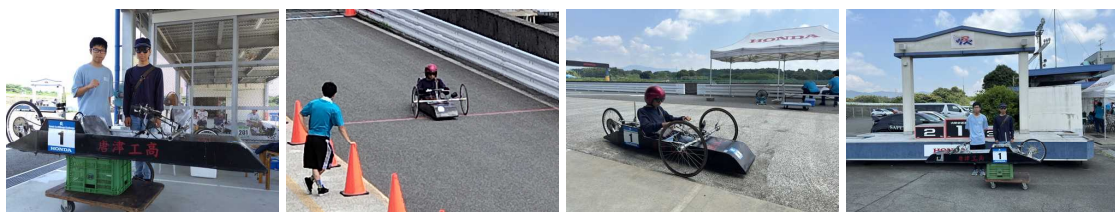
今後もこのような活動を継続することで、生徒一人ひとりが地域社会の一員としての自覚を深め、思いやりと責任感を持って行動できるよう成長していくことを期待しています。



○HONDAエコマイレッジチャレンジ2025

8月2(土)、3(日)に熊本県大津市で開催された HONDA エコマイレッジチャレンジ 2025 に本校機械研究部の井手義希さん(機3)、濱本秀彪さん(機1)がエントリーしました。

HONDA エコマイレッジチャレンジは、本田技研工業が主催する低燃費競技会です。参加者は、HONDA の4ストロークエンジンをベースに、1リットルのガソリンでどれだけ長く走行できるかを競い、独創的なアイデアと技術を競い合います。この大会は、単に速さを競うのではなく、燃費性能を追求するモータースポーツであり、中学生から社会人まで幅広い世代が参加し、アイデアとチームワークで燃費の限界に挑戦します。今年の大会も猛暑に見舞われ、エンジントラブル等のアクシデントに見舞われましたが持ち前のチーム力で問題を克服し、見事完走する事ができました。目標の 150 km/L には届きませんでしたが、60 km/L まで距離を伸ばす事ができました。また、本校の高いチームワークが評価され大会特別賞を受賞する事が出来ました。



○一日体験入学を実施しました

8月5日(火)、6日(水)の両日、中学生を対象とした一日体験入学を開催し、唐津市内外の中学校から、予定を上回る多数のご参加をいただきました。当日は、学校紹介・部活動紹介の後、機械科・電気科・土木科・建築科の4学科に分かれて体験実習を実施。参加した中学生の皆さんは、初めての実習に緊張しつつも、真剣な表情で熱心に取り組んでいました。

今年度からは、本校への進学を希望する中学生に「ものづくりの楽しさ」や「達成感」をより実感してもらえるよう、見学のみのコースを廃止し、実習体験のみの形式としました。体験実習の後には、各自が興味を持った部活動を見学し、本校の学校生活の一端にふれる機会となりました。



○建築研究部、フランターを贈呈

8月8日(金)、佐志校区青少年育成協議会様よりご依頼をいただいていた、フランターの贈呈を行いました。贈呈式には、佐志中学校生徒会から生徒2名と引率の先生1名、また、佐志校区青少年育成協議会からは井手清和会長、石山恵美様にご出席いただき、和やかな雰囲気の中で式が行われました。フランターの製作は、4月下旬より14名の建築研究部員によって開始されました。材料には建築大工技能検定の練習用資材を有効活用し、サイズや形状を工夫して、最終的に2種類・計4台のフランターを完成させました。より長くご使用いただけるよう、防虫・防腐の塗装も施しています。生徒たちは一つひとつに心を込めて製作しました。これらのフランターが、佐志校区にたくさんの花と笑顔をもたらし、美しい景観づくりの一助となることを願っています。



○高校生ロボット競技佐賀県大会

8月23日(土)、SAGAサブアリーナにて開催された令和7年度高等学校ロボット競技佐賀県大会に本校の電気研究部が出場しました。今年の大会は佐賀県のものづくりに携わる企業が一同に会し、ものづくりの素晴らしさを伝える「SAGAものスゴフェスタ11」のイベントに協賛する形で実施されました。開会式では、佐賀県高等学校教育研究会工業部会長 原口哲哉様から「この大会も回を重ねるにつれ、技術とレベルが確実に上がってきているのを感じます。今年の大会も熱戦を期待しています。頑張ってください」との激励の言葉をいただきました。今年の全国大会は福島県で開催されるため、福島県の特産物や文化遺産、観光名所などを模したボールやパイプ、ペットボトルをロボットが回収し、所定の場所へ移動させ、その数を競う形でおこなわれました。今年の大会は全9チームがエントリーし、午前、午後でそれぞれ競技を実施し何れか高い方の得点で順番を競います。本校からは、古川蕾(デ3)、宮崎優音(キ2)、中谷宝良(デ1)が出場しました。今年の競技は、どこの学校もハイレベルなロボットを製作し、確実にポイントを獲得するなど、とても白熱したものとなりました。競技の結果は、4位となり全国への切符は逃しましたが、昨年に続き、アイデア賞を頂く事ができました。



○ものスゴフェスタ11 マイコンカーラリー競技ふれ大会

8月23日(土)～24日(日)の両日、SAGAサブアリーナにおいて開催されたマイコンカーラリープレ大会に本校から電気科3年の石橋大成さん、今吉来夢(デ3)、田中伊織(デ3)、平野滉英(デ3)、前川颯伸(デ3)の5人が出場しました。マイコンカーラリーは高速走行のための改造ができるアドバンスド部門とある程度の改造が制約されるベーシック部門があります。

今回は11月に佐賀県で開催されるマイコンカーラリー九州大会のプレ大会を兼ねて「ものスゴフェスタ11」の協賛イベントとして開催されました。本校からの5名はベーシック部門に出場し、田中と今吉、平野の3名が予選を勝ち抜いて翌24日の決勝トーナメントに出場。田中伊織さんが3位に入賞しました。9月27日(土)に開催される、マイコンカーラリー佐賀県大会に向けての弾みとなる試合になりました。

